

◆ 今週のコメント

- ・ 百日咳の報告が2例(6～11ヶ月, 9歳)あります。本年の累積報告数は10例で、年齢階級別の内訳は、0～5ヶ月が1例, 6～11ヶ月が4例, 1歳が2例, 8歳が1例, 9歳が1例, 20歳以上が1例です。
- ・ RSウイルス感染症の報告が2例(1歳, 2歳)あります。過去5年平均値の推移をみると、12月が最も多く、春から夏(3月から8月頃)にかけては報告が少なくなっていますが、本年は3月以降も報告が続いており、3月以降(第10週～第22週)の累積報告数は32例で、過去5年の第10週～第22週の累積報告数(0～7例)と比べて顕著に多くなっています。

◆ 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

今週の報告は2例で、いずれも女性で、1歳(O26 VT1)、11歳(O157 VT1VT2)です。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 3例(肺結核 2例, 肺外結核 1例, 無症状病原体保有者 なし), (喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 160例(肺結核 109例, 肺外結核 38例, 無症状病原体保有者 13例), (喀痰塗抹陽性 53例)】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症(O26 VT1 3例, O157 VT1VT2 2例, O157 VT2 1例, O111 VT2 1例) 7例
【1月以降の累積報告数 16例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.13	9
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎 ② 水痘 ③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ④ 突発性発しん ⑤ 流行性耳下腺炎	5.63 1.17 0.83 0.41 0.22	231 48 34 17 9
眼科	流行性角結膜炎	1.00	10

病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、鼻咽喉ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルスA9型(1)	かぜ症候群(第12週)	NP	インフルエンザウイルスAH1型(1)	インフルエンザ(第11週)	NP
新型インフルエンザウイルスA(H1N1)型(2)	インフルエンザ(第21週×2)	NP×2	インフルエンザウイルスB型(5)	インフルエンザ(第13週, 第12週, 第10週) かぜ症候群(第13週) 感染性胃腸炎(第10週)	NP×5
A群ロタウイルス(4)	感染性胃腸炎(第14週×3, 第13週)	FC×4	ノロウイルスGII(2)	感染性胃腸炎(第10週×2)	FC×2
アデノウイルス5型(3)	かぜ症候群(第13週, 第12週, 第9週)	NP×3	血清型病原大腸菌(4)	感染性胃腸炎(第13週×2, 第10週) 不明熱(第11週)	FC×4
黄色ブドウ球菌(13)	感染性胃腸炎(第13週) 感染性胃腸炎(第12週) かぜ症候群(第12週×3, 第11週×4, 第10週×3, 第9週)	FC NP NP×11	A群溶血性レンサ球菌(3)	インフルエンザ(第11週) 感染性胃腸炎(第10週) かぜ症候群(第10週)	NP×3
G群溶血性レンサ球菌(2)	かぜ症候群(第13週, 第11週)	NP×2	肺炎球菌(10)	かぜ症候群(第14週×2, 第12週×2, 第11週×3, 第9週×2) インフルエンザ(第11週)	NP×10
インフルエンザ菌b型以外(14)	感染性胃腸炎(第13週) インフルエンザ(第10週) かぜ症候群(第14週, 第13週, 第12週×2, 第11週×5, 第10週, 第9週) 不明熱(第11週)	NP×14	マイコプラズマ・ニューモニア(1)	かぜ症候群(第9週)	NP

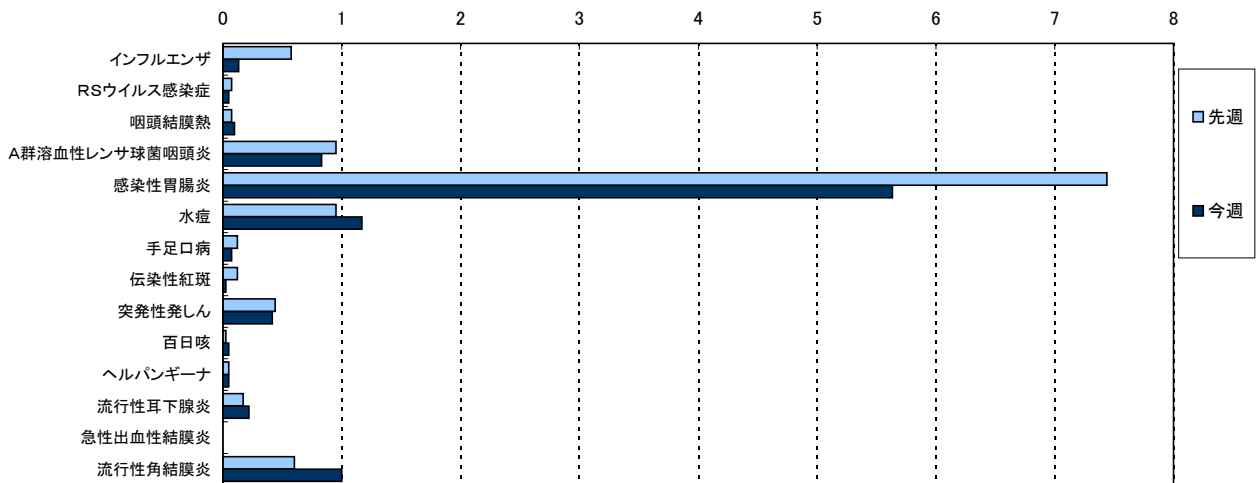
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

(注) 京都市のデータは、平成21年6月4日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

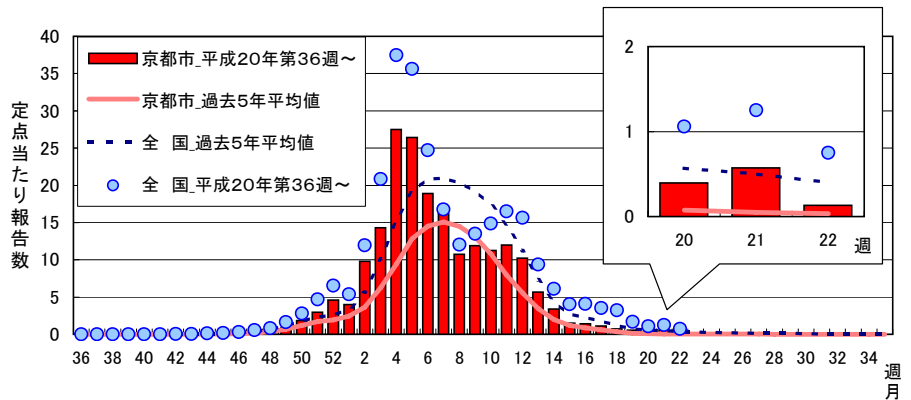
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第22週)と先週(第21週)の定点当たり報告数の比較



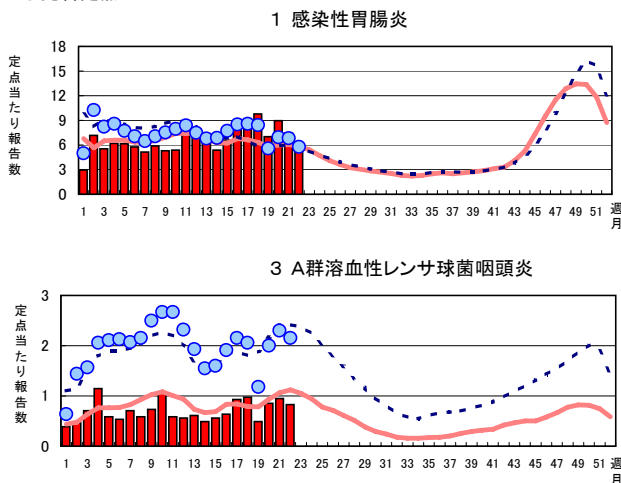
2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第18週	51
第19週	39
第20週	27
第21週	39
第22週	9
累積報告数 (第36週以降)	13603

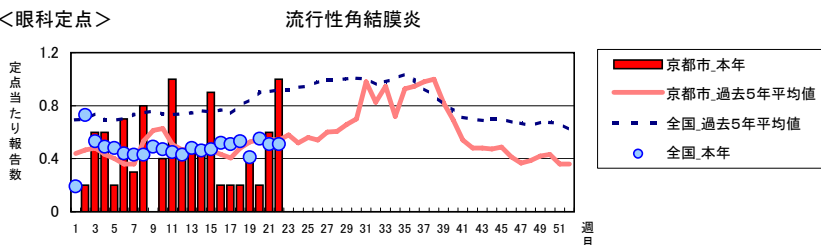


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>

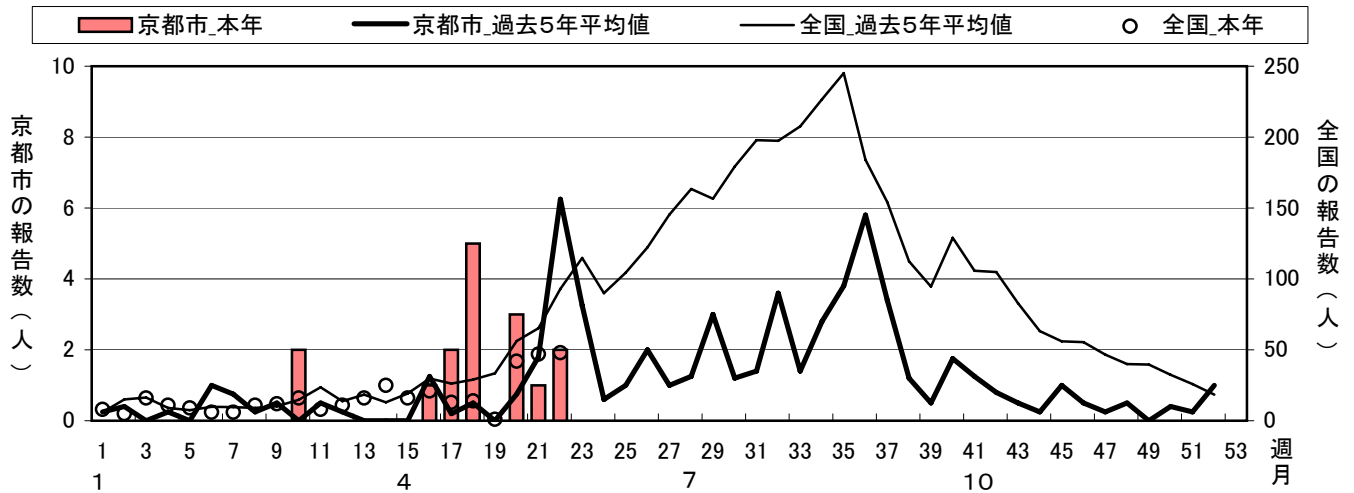


今週(第22週)のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

今週の報告は2例で、いずれも女性で、1歳(O26 VT1)、11歳(O157 VT1VT2)です。

第16週以降の推移をみると、第19週を除いて、毎週報告があり、第16週～第22週の累積報告数は14例です。平成11年～平成20年の第16週～第22週の累積報告数(0～31例)と比べると、平成20年の31例に次いで多くなっています。血清型別毒素型別では、O157 VT2、O157 VT1VT2、O26 VT1、O111 VT2の報告があります。

本市及び全国の報告数の推移



第16週～第22週までの血清型別毒素型別の年齢階級別報告数

血清型別毒素型別		年齢階級別				
		0～4歳	5～9歳	10～14歳	20歳代	30歳代
O157	VT2	3	1			2
	VT1VT2			1	1	
O26	VT1	4				
O111	VT2	1	1			
合計		8	2	1	1	2

年別血清型別報告数

	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年 (第1週～第22週)	総計
O1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
O26	-	8	8	-	5	2	5	2	2	34	4	70
O91	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
O103	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	6
O111	-	-	1	-	-	-	-	-	3	2	2	8
O121	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	5
O145	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
O157	25	25	43	32	96	42	30	54	49	41	10	447
O165	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
HUS患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
型不明	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
総計	26	33	52	35	101	48	36	57	54	86	16	544